

別表 平成30年度 支部・委員会の事業報告

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-5 講演会・ シンポジ ウムの開 催	宮城	11月17日(土)、宮城支部設立60周年記念事業の一環として記念講演会を開催した。演題は、「①寒さと人体一山での遭難を避けるために ②登山活動の安全管理の基礎～山岳会の指導者として」の2題で参加者は55名。
	茨城	「山」の講演会」第12回：年5回、4月、6月、9月、11月、1月に講演会を開催した。会員または外部講師による講演活動を行い山への啓蒙活動と会員勧誘への働きかけを実施した。参加者は、支部会員延べ95名、一般参加者56名、合計151名であった。
	栃木	「山」の講演会：12月2日栃木県青年会館（コンサーレ：共催）で実施。参加者79名（一般参加66名）。群馬支部の齋藤繁先生を講師に「登山という趣味を健康長寿に生かすために」をテーマに開催した。支部会員は企画・運営に参加した。 第10回「ヒマラヤの集い」は都合により開催を中止した。
	東京多摩	①7月13日 安全登山講演会「コンビニ登山の危うさ」 一般10名、支部員50名、計61名。 ②10月30日 自然保護講演会「謎解き登山のスズメ」 一般10名、支部員48名、計58名。 ③11月21日 萩原浩司氏講演会「山を10倍楽しむ」 一般89名、支部員71名、計160名。
	神奈川	支部総会の前に一般向け公開講座として下記を実施。 (1)神奈川大学山岳部の活動報告会：エルブス遠征、スポーツクライミング大会報告 e t c. (2)映画「ユレク」上映。8000m峰14座を成し遂げたククチカのドキュメンタリー映画を上映。 (3)古野淳氏講演会「ヒマラヤ最新事情」を実施。
	富山	「第10回山岳講演会」：平成31年2月21日、とやま市民交流館において「山の危険生物-その生態と対処法-」と題して富山県カルデラ砂防博物館学芸員白石俊明氏から山岳地帯の野生生物についての講演会を実施。（富山県山岳連盟協賛、北日本新聞社後援）参加者60名
	岐阜	「山岳講演会」：11/9 長良川スポーツプラザで開催 一般聴講者78名 演題「エヴェレストから日本の山々へ」 重廣恒夫氏
	静岡	5月10日(木)清水区社会福祉協議会、日知大学(60歳以上対象)「静岡の南アルプス」講演会(白鳥勝治氏)聴講者169名。 3月23日(土)クミアイ化学工業OB会「静岡の南アルプス」講演会(白鳥勝治氏)
	京都滋賀	1『山の講演活動』と『安全登山講習会』：4月「七大陸最高峰登頂者」である竹下千恵氏を招き講演活動をおこなった。4月、6月に滋賀県山岳センターで安全登山講習会を開催した。一般、会員も含め延べ80名が参加。支部会員はボランティアで指導員・補助員として参加。
	関西	「藤木祭の実施」：本年度は台風24号により中止。来年度は9月29日に実施予定。 「登山文化の伝承」活動：登山が他のスポーツにない側面として持つ文化的行為を広範囲に捉え、これまで関西支部が実施して来た文化的活動の幅を広げ、今年度より「登山文化の伝承」活動として実施し今後活発化する。
	福岡	「岳人のつどい」山の講演会◇日時：平成31年2月24日(日)14時 ◇場所：福岡市立早良市民センター。渡部秀樹「チベットの山々を歩いて」50名(会員19名、一般31名)参加
	科学委員会	フォーラムの開催：3月16日に東京慈恵会医科大学西新橋キャンパスで開催。「日本の山岳景観—その魅力と見どころ、「雨による山崩れの特徴」—登山で気を付けること、「アツモリソウとラン科植物の美しさと生態」の3講演で100名を超す参加者であった。
	医療委員会	2018年6月に東京で開催された第38回日本登山医学会学術集会(夏井裕明会長)に対して、資金補助を行った。委員数名が参加し、座長などを担当して協力した。
I-6 「山の 日」プロ ジェクト	北海道	「山の日記念登山」：家族を対象に計画したが雨天中止
	青森	山の日 親子登山(久渡寺山) 8月11日(土)…21名(支部会員12名)。八甲田山の日 7月8日(日)…台風中止
	岩手	「山の日」記念、ふるさとの山に登ろう公募登山：8月11日に遠野市石上山にて実施した。一般参加者7名、会員10名。県内の地方新聞や口コミなどの公募に応じた参加者とともに、ふるさとの山に親しみ交流を深めながら公募登山を実施した。
	栃木	「栃木県「山の日」協議会活動」：8月19日に「山の日」協議会構成員である栃木県山岳3団体(栃木県山岳・SC連盟、栃木県勤労者山岳連盟、日本山岳会栃木支部)が担当し「安全登山のためのファミリー登山教室 in 那須」を開催した。3コース合計22組58名の親子が参加した。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 「山の日」プロジェクト	群馬	<p>「ぐんま山フェスタ2018：6月9・10日、群馬県庁1階の県民ホールで開催した。一般参加者は過去最高となる6000人以上が訪れた。群馬支部は、地元紙の上毛新聞社、県山岳連盟、県勤労者山岳連盟と共催（県後援）の形で参画し実行委員会に加わった。支部としては健康登山をテーマとした齋藤繁理事の一般向けの講演や写真展、資料展示、相談コーナーの運営を行った。支部会員はボランティアで講師、相談員、補助員として10名以上が参加した。</p> <p>山の日イベントin谷川岳：8月の山の日とその翌日にかけて谷川岳で実施。県山岳団体連絡協議会が谷川岳エコツーリズム協議会と共催した。群馬支部は県山岳団体連絡協議会（JAC・県岳連・県労山）の構成団体の一つとして実行委員会に加わり企画運営にあたった。当日、一般参加者には6コースに分かれて登山を楽しんでもらい、支部では例年通り、山麓の自然観察ハイキングを実施した。自然観察ハイキングには20人が一般参加した。そのほか登頂、2コースの縦走登山、清水峠越えなどにもスタッフを派遣した。支部会員は本部役員、講師、スタッフなど10人が参加。イベント全体の一般参加者はおよそ100人。</p>
東京多摩		5月20日 山の日記念「高尾山親子森育ハイキング」 5家族11名参加、支部員13名参加。
山梨		<p>山の日制定記念事業2018 第4回やまなし登山基礎講座</p> <p>9月25日～10月30日の間、原則毎週火曜日午後6時45分から8時45分、山梨学院生涯学習センターにおいて連続8回14講座の初級者向け登山講座（実技関係12講座、山岳文化関係2講座）を実施。一般参加者各回31名、うち公開講座（2回）は延120名参加。支部会員講師12名、補助延べ56名、公開講座外部講師（恵秀彦氏、山梨県警山岳警備安全対策隊2名）計3名。同センターとの共催。</p>
信濃		<p>第72回ウエストーン祭の開催</p> <p>6月2日 ウエストーン祭に先立ち先人達を偲ぶ徳本峠越えの記念山行を実施した。参加者200名</p> <p>6月3日 上高地ウエストーン広場にて第72回ウエストーン祭を開催し、日本アルプスを世界に紹介したウエストーン師の功績を讃え、併せて、記念講演を行い環境保全や安全登山の啓発を図った。</p> <p>岳都松本山岳フォーラムへの参加第8回を迎える岳都松本山岳フォーラムに、実行委員として参加。本年度は、3月16、17日の両日「山の声をきこう」というテーマで開催。登山をはじめ山岳の魅力幅広い世代に発信した。</p> <p>上高地開山祭、高山植物保護対策委員会、長野県豊かな環境づくり県民会議、松本市海外都市交流委員会（カトマンズ、グリンデルワルドなど）のメンバーとして各活動に参加した。長野県山岳協会の会員として委員を派遣した。</p>
岐阜		山の日協賛 第1回 「山岳映画の夕べ」 8/11 長良川スポーツプラザ 83 名
静岡		10月27日（土）～28日（日）第12回しずおかスポーツフェスティバル登山大会。浜松市天竜区秋葉山・京丸山、会員6名参加
東海		<p>山岳振興及び祝日「山の日」啓発事業として</p> <p>①夏山フェスタ山岳振興の為6月に開催、参加者8000名（50名の支部員が企画・運営に参加）</p> <p>②森の音楽祭 ー第1部和楽器の演奏とオーケストラの演奏会、第2部第70回全国植樹祭応援記念植樹、自然観察と猿投山山頂を目指したハイキング。参加者合計435名（内支部員85名が運営に当たった）</p> <p>③『山の日』啓発チラシ及び「安全登山」のチラシを夏山フェスタと森の音楽祭で配布</p>
京都・滋賀		京都新聞社に月1回の「丹波の山々」の連載を持ち、登山文化啓蒙活動をおこなっている。支部ホームページを通じて通年的に安全登山の啓蒙活動をおこなっている。
関西		8月30日にOIT梅田タワー2階セミナー室において「山の日講演会」を実施した。参加者 74名
山陰		第3回「山の日」全国大会が当地鳥取県大山を中心に開催されたことから、大会実行委員会のアドバイザーとして参加協力した。
広島		ひろしま「山の日」県民の集い事業：北広島会場に於いて、会員7名のサポートでジュニア向けツリークライミングを実施した。小学生を中心に延70名が参加。
四国		徳島県主催「山の日イベント親子登山」に支部会員が正・副リーダーとして参加(8/11)。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 「山の 日」プロ ジェクト	福岡	夏山フェスタin福岡2018：平成30年6月23日（土）・24日（日） 場所：電気ビル共創館（4階/みらいホール）来場者数：23日約1,600人、25日約3,300人、合計：約4,900人。 セミナー：渡部秀樹、小林千穂、貫田宗男、重廣恒夫他 8月11日「山の日」制定記念in福岡登山大会：福岡県三山での大会を共催で行った。
	北九州	8月11日 「山の日」記念事業として風師山家族登山（一般53人、会員37人）
	熊本	山の日協賛登山を8月11日（土）西原村「俵山」にて実施。会員会友の参加者24名。一般参加者215名。地元高校生による山の日宣言を行うと共に、山の日の冊子やくまもんカンバッチを配布し好評を得た。
	東九州	ふるさとの山に登ろう in 別府 小鹿山：「山の日」にちなんだ登山活動振興につながる行事を行った。県内主要山岳団体4団体で設置している大分県山の日登山実行委員会で昨年に続いて、「ふるさとの山に登ろう・in・別府 小鹿山」を実施 日時：8月11日（金）、 場所：別府市志高湖畔と小鹿山 参加者：約110名 主催構成団体；大分県主要山岳団体4団体
	宮崎	「第2回山の日ときめき家族登山の実施」：9月11日に実施した。公募による小・中・高生13名、およびその家族など20名を支部会員21名でサポートし宮崎市近郊の高房山に登山した。
I-7 イン ターネット	DM委員会	JAC広報ホームページ運営 維持管理（情報公開、入会案内、JACからの公告）。JACメールサービス維持管理。インターネットサーバによる会務データ処理とデータサーバによる活動記録データの電子保存。主管庁関連の登山事業、環境保全事業、山岳研究調査事業をWebサイト、SNSで紹介掲載等JAC所蔵資料等の公開、表彰事業をWebサイト上で告知。委員会、支部等主催の各種行事の案内をWebサイト、SNSに掲載。
I-8 登山教室 の実施	北海道	NHK文化教室主催の登山教室に夏・冬のシーズンに指導者を派遣、協力。（4-8名指導員として参加）
	宮城	第7回（5月20日：北面白山）と第8回（12月2日：中止）の登山教室を実施した。一般参加者は第7回が5名。山行中に日本山岳会及び支部友会についての啓発活動を作成したチラシにより行った。参加した支部（準）会員及び支部友会会員は15名。
	群馬	健康登山塾：群馬支部が独自に主催。齋藤繁日本山岳会理事を「塾長」に、主に中高年登山者を対象に公募した登山教室。医療スタッフにスポーツの専門家も加え、赤城山を中心とした実地山行を4月から11月まで全7回実施した。受講者25人（応募総数120人、抽選で決定）、地元大学の医療・スポーツスタッフに加え支部スタッフが各回10人程度参加した。
	埼玉	自立する登山者養成を目的に受講生13名に机上及び登山実技講習を各3回実施した。 「安全登山講演会」：平成31年1月19日、埼玉県教育委員会、埼玉新聞社、埼玉県岳連、埼玉労山の後援を得て、埼玉県警山岳救助隊の工藤大介副隊長による安全登山講演会が開催された。参加者は54名（一般登山愛好家は27名、JAC会員は27名）
	東京多摩	初心者・初級登山教室：多摩地域に健全な自立した登山愛好者を育成するとともに、会員として入会促進。第5期初級登山教室修了生からは19名が準会員として入会した。第6期初級登山教室（4月～3月）／15名受講。第7期初心者登山教室（5月～8月）／41名受講。第7期初級登山教室（9月～3月）／31名受講。支部員30名がボランティア参加。
	越後	公募登山：①6月10日・白鳥山 公募参加者18名 ②9月8日～9日・上高地集会（雨のため、上高地散策及び焼岳）公募参加者12名 ③10月14日・「塩の道古道」鳥越峠越え 公募参加者19名。毎回、支部会員が登山の基本や山の自然・歴史などを解説、登山の啓蒙・普及に努めている。
	静岡	地域の一一般の登山初心者のためのセミナーを静岡県内の低山ハイキングコースにて実施。新聞等で一般募集をして年3回開催 1、5月27日（日）「越前岳」セミナー生10名（親子2組）会員13名参加 2、10月21日（日）「安倍山稜、バラの段」セミナー生17名、会員13名参加 3、31年2月17日（日）「竜ヶ岳」セミナー生7名、会員17名参加
	東海	「登山教室」：安全で楽しい登山普及の為、中日文化センターにて1教室を開講した。前期（4月～9月）と後期（10月～3月）に分けて開講。月1回の講座（座学）と山行。生徒数：累計170名 山行指導員として支部員30名参加。 「登山学校」の開校：平成29年7月に開校。東海支部が独自に運営している。未組織登山者への安全登山の啓蒙、支部の人材の確保と育成、支部活動の活性化を目的として運営。経験及び技量に合わせ初級、中級及び上級の3つのグループに分け、一年間の実践・学習を通して技術の習得を目指していただく。初級：46名、中級：39名、上級：8名、指導員：32名で対応 登山教室指導員に対する技術講習会の実施（随時-年間8回）

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-8 登山教室 の実施	関西	初級者・中級者・上級者 各クラス共通の座学3回とクラス別に9回の実技講習を実施した。 「安全登山の普及」を目的とし、山登りの初心者から雪山や岩登り等の本格的な登山を目指す人々を 一般公募して実施した。
	四国	「フラワートレッキング講座」主に愛媛県内で講座を40回実施、参加延べ人員は312人（一般市民含む）。講座内容は、安全登山のための初歩的技術講習及び植物、地層などの自然観察。講師は支部会員。
	熊本	「秋の登山教室」 阿蘇外輪山 9月9日 参加28名。 一般登山愛好家を募集して登山に関する知識の習得を目的として毎年実施。 「登山研修会」 ①沢登り研修会を8月4日（土）～5日（日）美里町「津留川谷」にて実施。参加者11名。 ②沢登りに先だって、登山技術講習会（岩登り）を6月10日（日）熊本市「岩野山」にて実施。参加者16名 ③冬山研修会を2月23日（土）～24日（日）広島県「恐羅漢山」にて実施。参加者11名。 ④冬山研修会に先だって、冬山講習会を1月26日（土）～27日（日）大分県「九重一帯（白口岳）」で実施。参加者11名。
	東九州	第6回登山入門教室。山登りの初心者を対象に募集、定員30名としたが、応募者は24名で実施。座学・2回、実践講座4回の、計6回の講座。講師は全て会員が担当し、講座の資料等は全て講師の手作りで実施。
	YOUTH CUB	「（初級）登山講習会」毎月、机上及びフィールド実地の登山教室を実施。登山デビュー、はじめての地図読み（春編）、山の生活技術、都心の樹木観察会、安全のための気象講習、山登りの基礎知識、基礎のファーストエイド、基礎のテント設営、基礎のセルフレスキュー、基礎の地図読み講習（秋編）、冬の低山の楽しみ方、スマホGPSの使い方、はじめての雪山デビュー（1）夏山とは違う、ワカンを使って野山を歩く、アイゼンで歩いてみよう、。一般参加者 年95名。参加者に入会（会員・準会員）を勧め、入会者増に貢献してい（約20名）。
	家族登山 普及委員 会	家族登山教室を年6回開催（第3回「上河内」は台風のため中止）して、安全な家族登山の普及を行う。 これまでに構築したウェブサイトを通じて「山の日」の普及活動と安全な家族登山の情報提供を行う。 高尾の森づくりの会と連携して初心者の家族登山の啓を行った
I-9 YOUTH CUB活動 (登山指導 含む)	北海道	雪崩講習会：事業当初(21年)は支部主催により、会員・会員外の技術力向上を目指していたが、NPO法人が主催(支部は協賛)する北海道雪崩講習会(座学)、札幌山岳連盟雪崩研修会(実技ほか)に一本化し、当該講習会に当支部の会員が参加。 事業実績：①座学 平成30年11月25日<札幌市内>8名参加。雪崩発生のメカニズムから対処法・ビーコン使用によるレスキュー方法についての机上講習会 ②座学&実技 平成31年1月19-20日<後志管内冷水峠周辺>8名参加。雪質調査やレスキュー講習など
	青森	青森県高体連登山部へ年4回、登山指導や安全管理に協力した。 八甲田山の日 7月 8日（日）に予定したが 台風中止 山岳スキー研修（竹越会員山荘） 1月12日（土）～13日（日） …13名
	岩手	毎年9月に実施する岩手山八合目避難小屋管理当番に協力参加し、支部会員4名を派遣した。
	秋田	・山王中学生90名の前岳登山に支部会員をサポートで派遣（5月24日） ・夏休みチャレンジ前岳登山に支部会員をサポートで派遣（8月9日） ・一般客参加の前岳登山・妙見山登山に支部会員をサポートとして派遣（5月27日・9月9日）
	福島	「第5回フリークライミング講習会」：年1回、5月に実施した。一般13名が参加した。地方紙「福島民報社」の支援（記事掲載）を得て一般人を対象に、講師は部外のクライミングガイド1名を招請、支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加した。
	栃木	「ユース栃木勉強会」2年次勉強会を実施した： 「次期リーダー育成と会員増強」を目的に特別事業補助金を活用し、昨年「雪崩」に続き「読図とナビゲーション」勉強会を1月19日～20日に栃木県青年会館（机上）／古賀志山（実技）で一般を対象に開催した。机上講習70名、実技演習21名が参加。 栃木県山岳遭難防止対策協議会：構成員として栃木県「山のグレーディング」の改訂作業を行い発行した。
	茨城	（公財）常陽藝文センターへの講師派遣、山への啓蒙活動に協力し、講師を6回の講座に推薦派遣した。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I - 9 YOUTH CUB活動 (登山指導 含む)	群馬	「上州武尊スカイビュートレイル」：前身の山田昇杯から続く伝統あるトレラン大会で、9月22～24日にかけて上州武尊山周辺で実施した。群馬支部からは岳連役員を兼務する会員2名が本部役員を務めたほか、スタッフとして2名が参加し運営に協力した。
	東京多摩	「安全登山講習会」 ・10月14日 登山技術講習会「縦走中におけるロープ使用方法」 31名参加。 ・11月3日 「事故発生時の現地対応及び緊急連絡網活用シミュレーション」22名参加。 ・1月30日 登山におけるケガ予防等のための「テーピング実技講習会」 35名参加。 「登山活動指導」 ・奥多摩BCを隔週の土曜、日曜日にオープン。登山者の情報交換、地元との交流を行った。 ・4月1日 奥多摩山開きに合わせて、一般登山者に対して登山計画書提出チラシ配布。
	神奈川	アウトドアレスキュー講習：赤十字救急法インストラクター、及び支部会員を講師とし、下記実習を行った。 心肺蘇生・AED操作、止血法、骨折などの対応、傷病者の搬送方法等。今期新規に1回実施。
	越後	県山岳協会主催の登山講習会等に支部会員を講師派遣し、安全登山の普及に努めた。
	富山	①「一般募集山行」：5月27日「富山の百山・夫婦山に登ろう」一般募集 参加者32名 北日本新聞社後援。 ②山岳連盟主催の各種講習会・研修会、登山教室等に指導者・リーダーを派遣した。 ③小学校6年生の立山登山に講師として会員が案内。対象学校10校
	山梨	第1、2、3回やまなし登山基礎講座修了生78名を主な対象に、原則毎月1回の公募登山を実施した。支部会員はCL、SL、スタッフとして各回4～9名参加、修了生等は各回1～4名参加。下記実績は合計数。 実績： 4/15茅ヶ岳5名、5/20日向山12名、6/9三ツ峠9名、7/21西沢溪谷16名、7/26木曾駒ヶ岳7名、 8/19,20八ヶ岳9名、9/9楡形山10名、10/21五里山10名、11/11宮地山13名、11/25十枚山10名、12/16笠無3名、31.1/20ミミ石8名、2/24大蔵経寺山17名、3/16,17七面山（予定5名）、 雪山ステップアップ講座：31.1/27入笠山10名、2/17北横岳11名、3/23,24根石岳硫黄岳（予定5～8名）
	東海	①青年部の活動：合宿・訓練・講習；春山合宿 5月、地図読講習 6月、小川山合宿 8月、雪上訓練 11月、冬山合宿 1月にそれぞれ実施。 ②亀の会の活動：65歳以上の支部員を対象とした亀の会会員向け山行一月1回の定例山行(参加延150人)に加え自主山行を2回実施。会員数54人。 ③技術向上委員会の活動：登山技術のレベルアップと安全登山の徹底を目指して外部講師による講演会のほかに各種研修会を実施。ファーストエイド講習会、沢登り講習会、レスキュー訓練など。
	京都滋賀	『山の講演活動』と『安全登山講習会』：4月「七大陸最高峰登頂者」である竹下千恵氏を招き講演活動をおこなった。 4月、6月に滋賀県山岳センターで安全登山講習会を開催した。一般、会員も含め延べ80名が参加。支部会員は指導員・補助員として参加。
	山陰	大山冬山パトロール：冬山遭難防止対策として、鳥取県警と合同で大山冬山安全指導の為、冬山パトロールを企画して支部会員3名と鳥取県警2名で土曜日と日曜日の2日間大山山頂を往復して実施した。 地域公民館の野外活動への協力：近郊の山を案内するなど、指導者を派遣し協力した。 学校行事として行われる大山登山教室に支部会員を派遣してサポートした。
	広島	山行指導部が中心となって外部講師を含めて以下の安全登山講習会、勉強会を実施。 ① 新入会員向け教育とリーダー育成のため講習を実施。 ② 気象予報官を講師に豪雨災害対策及び安全登山のための気象勉強会を実施。 ③ 登山計画・岩稜歩き・沢登り・地図読みなど月次講習11回。参加者延153名（2月現在）
学生部	学生部主催でマラソン大会、クライミング大会、アイスクライミング講習会を毎年実施。各大学山岳部、WV部等から大勢の学生が参加。卒業後の入会を勧誘。委員会会員はボランティアで指導者・補助員として参加している。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I - 9 YOUTH CUB活動 (登山指導 含む)	WV部及び 青年部	「技術向上研修」：WV部及び青年部メンバーに登山技術研修を実施。①WV部部員向け机上講習(年間10回、参加延べ173名)、②WV部ステップアップ講習登山(年間12回、参加延べ165名)③青年部部員向け技術研修会(年間12回、参加延べ173名)、④新技術調査(雪崩捜索Avsar)
	遭対委員 会	「山岳遭難防止セミナー」：11月に、積雪期の遭難防止及び安全登山の推進を目的として、長野県警山岳遭難救助隊に講師を依頼して実施した。参加者35名 「講習会の開催」：6月に、山行委員会と共催で、山岳におけるファーストエイドの技能を学ぶことを目的として、救急救助講習会を実施した。参加者40名
	山行委員 会	「救急救命講習会」：6月17日 J I C A地球ひろばで開催した。(通算7回目)参加者は、会員・非会員を合わせて計30名であった。
	医療委員 会	講演会「登山のためのトレーニング」：2018年11月26日にオリンピック記念青少年センターで山本正嘉氏による講演会「登山中に身体のトラブルを起こさないためのトレーニング法 ～20歳から80歳代まで役立つ知識～」身体のトラブルを起こさないためのトレーニング法 ～20歳から80歳代まで役立つ知識～」を主催した。参加者は105名、会員外が58%で、好評だった。 講習会「携行医薬品」について2回実施：2018年7月2日と23日の2回、104号室にて植木貞一郎委員を講師として講習会を行った。参加者は合計28名で、ユースクラブ関係者が多く、好評だった。
I - 1 0 障がい者 支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 協力登山」：7月15日宝篋山集中登山トレーニング、自閉症者10人、会員8人、合計18人参加、 9月29日～30日一泊2日、北八ヶ岳白駒池キャンプに協力し、指導をして登山した。自閉症者と家族17名、山岳会5名、ボランティア4名、合計26名。
	埼玉	「障がい者とのふれあい登山」：4月8日(日)、埼玉県障害者スポーツ協会と共同主催で「第8回ふれあい登山」を実施した。明覚駅から弓立山(427m)に登り、越生駅まで歩き、障がい者とのふれあい親睦を深めた。参加者は88名(障がい者27名、付添26名、会員30名、障がい者スポーツ指導員など5名)
	東海	①視覚障がい者支援登山の実施-5月12日 網掛山、参加34名(内24名が支部員他の支援者)と11月3日小谷山参加者28名(内支部員他支援者18名)の2回実施。 ②視覚障がい者支援登山2(ひまわり山行)-3回実施、参加者累計39名(内障がい者11名、支部支援スタッフ28名) ③親子ふれあい登山-10月と11月、2回尾高山で実施、参加者は合計205名(内支援者31名) ④知的障害者支援登山(SON愛知と協働)-10月28日寧比曾岳(障がい者7名、SONスタッフ14名、支部支援スタッフ14名が参加)
I - 1 1 少年補導 委託登山	東海	タンポポ登山(少年補導委託登山)-家庭裁判所との協働事業-6月と11月2回にわたって実施-少年4人、家裁職員3名、支部支援スタッフ20名参加。
	北九州	11月1日、家裁からの委託登山。非行を犯した少年に登山を経験させることにより、更生意欲等の喚起を期待しての取り組み。少年2人、家族1人、裁判所職員6人、当支部7人の16人で実施した。平成31年度は、2回を予定している。
	宮崎	第25回宮崎家庭裁判所委託登山の実施。少年2名を母親2名、調査官4名、友の会1名と共に支部会員7名でサポートし、宮崎市近郊の双石山に登山した。
I - 1 2 海 外 交 流 事 業	宮城	10月9日～15日、宮城支部設立60周年記念事業として、中華民国山岳協会の協力を得て台湾玉山登山を実施した。参加者は10名。更に、11月18日に60周年祝賀事業の一環として太白山登山を実施した。参加者は26名。
	東九州	「韓国山岳会蔚山支部との交流の実施」：平成17年から続けている韓国山岳会蔚山支部との交流事業で、相互訪問登山を開始して12回目の今年は当支部が韓国保訪問しての実施。10月19～22日に蔚山市近郊の大雲山・舞龍山で実施。支部より18参加

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-13 青少年の 体験登山 (親子登山 を含む)	北海道	第19回子供サマーキャンプ(自然児学校)事業(詳細は本文に記載)
	宮城	「親子登山教室」：第6回(7月8日：戸神山)と第7回(9月30日：達居森・・台風接近に着き中止)の親子登山教室を関係市町教育委員会の後援を得て実施した。親子の参加者は7家族21名。登山関係資料を配布すると共に山行中に安全登山の話に加えて急坂ロープ下り体験を行った。参加した支部(準)会員及び支部友会会員は9名。
	福島	「山の日・親子登山」 8月11日、支部主催の「吾妻・一切経山親子登山」を実施した。公募参加者は19家族60名。
	栃木	「親子登山教室」：夏休み期間の7月14～15日に学習院日光光徳小屋及び周辺・白根山で実施。 共催：栃木県山岳連盟・SC連盟/後援：栃木県教育委員会・日光市教育委員会・学習院山桜会。 親子の絆を深め、自然体験を通して子供の人格形成を助ける。親子8組19名が参加。
	千葉	「児童養護施設の課外活動支援」児童養護施設、社会福祉法人「晴香園」の課外活動を自然に親しみ、安全に登山する目的で協力、引率した。8月、11月、1月の3回実施した。各回とも子供7、8人と職員3人が参加。支部からは指導者として7～10人が参加した。 親子登山の実施：茂原市子どもセンター主催、茂原市教育委員会後援の「親子で登山」に協力した。山行の計画段階から参加し、支部からは講師・指導者として6名が参加した。8家族19名の親子とゲストら9名が参加した。
	東京多摩	「くにたち第4小学校高尾山ハイキング」 四小の3年生4年生児童サポートのため関係者24名、支部員8名参加
	越後	第2回糸魚川世界ジオパーク「子ども登山教室」： 8月11日「山の日」に、糸魚川市・蓮華温泉及び蓮華の森自然歩道で実施した。小学生(低学年を含め)10名、保護者5名が参加して自然観察及び登山を行った。事前学習会を実施し、参加者からは好評だった。実施体制も強化され、会員加入もあるなど、5ヶ年計画の2年目として着実に成果をあげている。(会報「山」No.880で報告済)
	富山	「山の日記念親子登山」： 8月11日山の日記念親子登山 尖山 参加者15名 富山県山岳連盟と共催・北日本新聞社後援
	石川	毎年8月に白山親子登山教室を実施している。 事前登山座学研修として7月29日キゴ山にて実施 一般参加者16名。 8月25日～26日 本年は台風の影響にて中止とした 一般参加申込者20名。 支部員は座学に8名参加、白山登山は14名が参加予定であった。
	静岡	8月18日(土)「親子登山教室・富士山宝永火口周辺」親子14名、会員9名参加。10月24日(土)小学校の遠足の引率の派遣、3年、4年生60名。11月26日(月)書道教室生徒の遠足の引率の派遣、小学生25名、大人10名
	東海	親子ふれあい登山：10月と11月、2回尾高山で実施、参加者は合計205名(内支援者31名)
	関西	11月25日に一般の子供を中心とした「わんぱく探検」を開催した。参加者25名。
	広島	3年前から実施のジュニアユース育成本部組織ジュニアクラブの継続事業とし、新しく公益事業本部組織の親子登山委員会として年4回を計画したが対外自粛を再生委員会で決定したため実施を見送った。
I-14 登山道整備・清掃	北九州	5月18日と5月25日 幸幼稚園児の風師山ハイキングをサポートした(会員8人・7人) 10月25日福岡県立行橋市立延永小学校5年生「英彦山登山」サポート(生徒57人)
	東九州	第17回青少年体験登山大会：初心者を対象に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に、青少年だけでなく、一般の初心者も対象に募集し、1日日帰り登山を久住山で実施した。国際山岳年(2002年)以来実施してきており、今年で17回目。(9月9日実施、参加者69名支部会員17名)
	北海道	山のトイレ整備：北海道山岳9団体構成の「北海道山岳団体交流会」のメンバーとともに美瑛富士避難小屋周辺の携帯簡易トイレの管理とキャンプ場周辺の環境整備。8月19日・20日に実施。参加者 会員・会友など3名
青森	「八甲田山遭難防止対策スキーコースポル立て」2月と3月に実施。八甲田山スキーコースに地域関係者と共に遭難防止用の誘導竹竿を設置した。さらに6月に青森県観光国際戦略局観光企画課の要請を受け、八甲田山系で登山道維持ボランティア活動を行った。	
秋田	「太平山歩道整備」：支部会員10名。会員外1名の参加。二手の又登山口から前岳山頂までの刈払い。 「太平山山開き清掃登山」：6月10日に実施した。対象者数約36名。支部会員13名の参加。太平山県立公園整備促進地域協議会による清掃登山への秋田市からの一般参加者を他の山岳団体と共に班リーダーやサポートで支援した。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-14 登山道整備・清掃	山形	7月1日に「山形大学附属上名川演習林：やちはば→シオジ谷地周辺清掃登山」を行った。9時演習林官舎へ移動、演習林職員より概要説明を受けた後、大徳沢林道終点まで車で移動。やちはば三角点から国有林との境界線の伐採跡地をシオジ谷地まで清掃登山移動、その後車で官舎へ移動。 登山道の整備：9月15・16日に「東北北海道地区集会」が羽黒山宿坊大進坊および出羽三山で開催された。15日夕方には、坊主の早坂眞一氏による記念講演「出羽三山の自然と文化」を聴講した。16日は月山8合目に移動し登山開始、清掃登山を行いつつ月山山頂経由で湯殿山神社に下山した。
	福島	「登山道整備事業」：吾妻連峰登山道のうち荒廃が進む場所を選定、登山道の刈り払い、整備、標識修理等を実施。年4回（6、7、9、10月）計画したが、荒天、吾妻山の噴火警戒で9月のみ1回実施した。参加者は6名。
	栃木	日光清掃登山：栃木県山岳・SC連盟と共催で、7月1日日光山系の清掃登山を行った。 那須クリーンキャンペーン：栃木県山岳・SC連盟他と共催で、9月2日那須岳周辺の清掃登山を行った。
	越後	公募登山や支部会員親睦登山及び弥彦山・高頭祭で清掃登山を実施した。
	富山	5月26日高頭山登山道整備 参加者13名 山頂に標柱を設置した。
	石川	登山道整備事業を実施：富士写ヶ岳不惑新道整備 5月26日 支部員8名 にて実施。浅犀みくまり道 周回部 6月23日 支部員6名 にて実施。白山 杉峠 6月30日 支部員9名 にて実施。刈払機やチェーンソーは会員より借用した。
	信濃	ウェストン祭に合わせ事前に行政機関と共に徳本峠登山道の状況調査や整備を行った。
	静岡	静岡市近郊の安倍山系「竜爪山」、「真富士山」登山道整備12回
	関西	登山道保全活動実施。 「東お多福山草原再生・保全研究会」に参画し、六甲山東お多福山ススキ草原復元の協業活動として保全・整備活動を7回行った。
	広島	中央分水嶺（聖山別れ～奥匹見峡分岐）の登山道整備：例年実施の島根県との県境の聖別れ～匹見（中央分水嶺）ルートへの倒木撤去と草刈り等の登山道整備を実施。参加会員は延33名。2日間の作業で全行程の約70%を整備。
	四国	NPO法人との共同により落合峠～矢筈山間で草刈りなどの登山道整備を実施（10/21）
	北九州	4月15日「英彦山清掃登山」5団体86人が参加。英彦山山頂のバイオトイレの清掃活動（10回／年）
	宮崎	清掃登山の実施（双石山509.3m宮崎市。実施結果を宮崎市森林環境課へ報告した。）
I-15 山岳自然観察会の実施	岩手	「自然観察会」の実施：年2回、4月は万寿山、10月にはナメトコ山で実施した。一般参加者8名、会員18名 地域の登山愛好者向けに、春の山野草や高山植物、秋の紅葉の木々、宮澤賢治ゆかりの山での自然観察会を実施した。 支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加した。
	秋田	仁別植物園・博物館内の説明や仁別の森の案内等を支部会員が年14回程度行った。
	埼玉	10月「玉原高原の自然を訪ねて」でのブナ林一周と湿原観察。 ・11月越生町教育委員会後援による大高取山自然観察会を開催・森づくり及び自然観察会（年3回） 群馬支部と共催で「玉原高原の自然を訪ねて」でのブナ林一周と湿原観察会を開催した。 越生町教育委員会後援による第6回大高取山自然観察会を開催、参加者28名。
	東京多摩	地域の自然愛好者向けに地域山域内での自然観察会を一般対象に実施。 ①御岳山レンゲショウマ観察会 8月20日実施。公募参加者21名。参加支部員8名。 ②高尾山シモバシラ観察会 12月26日実施。公募参加者4名。参加支部員5名。
	東海	愛知県有林「やまじの森」を主体に植生観察会を毎月1回実施 一般参加者延べ150名（内支部員20名が説明員として参加）
	熊本	山野草観察「登山教室」：山野草を見る会を5月27日（日）玉名市「小岱山」にて実施。参加者25名。
	東九州	スズタケ枯死とシカの食害調査： 祖母・傾山系の本谷山西の稜線の定点観測地点において年二回（6月・10月）実施。平成25年度から実施
	自然保護委員会	「写真が語る山の自然山岳データベース」：一般から山岳写真を集め現在の山岳写真と比較し環境変化をしらせる。 自然保護のための学習会：「植物観察の基礎知識を学ぶ」 参加者12名 10月31日実施
	科学委員会	探索山行：「ライチョウの保護活動の現場観察」を目的として、9月8、9日に乗鞍岳で48名の会員等が参加、ライチョウを見学した。8日午後には保護活動のリーダーである信州大学中村名誉教授他2名の講師による保護活動の実際についてのセミナーを行った

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅱ—2 山岳図書館の運営及び発刊事業	千葉	「房総半島郡界尾根踏査」 房総半島の上総と安房の郡境の実地踏査が完了した。4年がかりの事業で、逐次新聞で報道された。報告書は31年度にまとめる。
	神奈川	かながわ山岳誌プロジェクト : 支部設立記念PJT。5年計画で神奈川県下の2.5万分の1の地形図に記載された山名と峠及び登山対象となるピークの全てに登り、日本山岳誌の神奈川県版を作成するための山行。比較的、登りやすいコースを選定(Lコース)し、一般向け公募山行として実施。山行回数: 計画9回/実施8回(雨天中止1回)
	山陰	「神話に語り継がれる山々の踏査研究」: 支部創立70周年記念事業として、出雲の国と伯耆の国100山を選定し、昨年に引き続き踏査を行い完了した。この成果を刊行物にして纏めていきたい。
	図書委員会	山岳専門図書館としての蔵書の管理と新刊書の収集: 新刊書の和書は基本的には著者・出版社からの寄贈。洋書は購入(本年は5冊)。他に図書交換会出品本のうち蔵書にないものを購入。※常に新刊書の情報収集をし、寄贈依頼を出している。蔵書の閲覧者(会員以外)への対応および出版物などの転載手続。会員以外からの問い合わせ・閲覧希望が増加している。メディア(出版・映像・旅行)関係からの日本山岳会出版物の転載依頼への対応を行った。
Ⅲ—1 森づくり活動	青森	平成11年以来実施している「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して6月と9月の年2回実施。6月17名 9月15名 計32名(支部会員)。下草刈りと植樹したブナの生育状況調査を行った。
	福井	森づくり: 4月~11月まで月1回(毎回7名~10名)敷地内の ①花壇の整備 ②遊歩道の整備 ③草刈り ④池に繁殖したガマの除去 ⑤雑木の伐採と植林等を行った。
	岐阜	「権現の森林づくり」: 岐阜県県有林 4/15~11/18 まで全12回実施 会員・会友・一般参加 延べ61名 支部会員は、ボランティアで指導者・補助員として参加している ①専門家による安全管理と樹木の枝切り講習会 ②前年度設置の防獣ネットによる動物食害防除の成果調査 ③登山道の補修整備 ④地生え幼木(ブナ科、カエデ科を中心として)の保護育成を図る。 その他 4/21 イビデンの第10回育樹祭 参加者 6名
	東海	「猿投の森づくり活動」: ①愛知県有林「やまじの森」における保健保安林・土砂流出防護保安林の整備に加え、遊歩道の維持・水土保持・生物多様性などの環境機能の向上を目指した諸作業。 ②東大演習林での間伐作業。 ③JAC所有の山桜フィールドでの森づくりと森の恵みを享受できる基地としての諸作業。 ④近隣民有地での間伐作業への協力。年間作業日数: 40日、参加人員: 延べ360人 ⑤わいがや講座+緑陰講座の実施: 外部有識者及び森づくりの会の会員を講師に招き、森林・水土保持・生物多様性などの環境機能に関する勉強会の実施 - 毎月1回開催。
	京都・滋賀	比良山系のダンド坊遺跡で5月と10月に森林整備及び登山路整備活動をおこなっている。 滋賀県「藤尾の森」で森林整備を基幹とした森づくり活動を毎月2回開催している。 一般、会員も含め延べ180名が参加。支部会員はボランティアで指導員・補助員として参加。
	関西	本山寺山の森づくり活動: 大阪府高槻市の「日本山岳会関西支部本山寺山の森」で、森づくり活動を行った。 近畿中国森林管理局長と協定(2015年4月~2020年3月)締結中。 関西支部管轄の下に活動主体団体「本山寺山森林づくりの会」で、森林の保全、整備活動を月2回行った。 「関西支部自然保護委員の委員会」を定期的に開催、「本山寺山森林づくりの会」の理事会・総会を開催した。
	山陰	「大山横手道ブナを育成する会」の活動に参加して苗木の育成管理や植林地の伐採と造成 作業を実施した。
	北九州	九州森林管理局より受託している15名の巡視員が各山域で巡視活動を実施。
	熊本	平成30年度秋の森林保全巡視活動として10月14日山鹿市「八方ヶ岳」にて実施。参加者12名。
	宮崎	「支部の森育林事業及び緑化事業支援活動」: 7月と9月に支部管理の森(宮崎・小林・西都市総面積1.1ヘクタール)の育林作業を延べ10名で実施した。支部が団体会員として登録している「水源の森づくりをすすめる会」の育林作業に3回、延べ15名参加した。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲ－2山岳 環境保全 活動	北海道	北海道の補助事業「大雪山高山植物盗掘防止パトロール」の公益事業を受託。監視員として派遣協力。(6月～9月下旬まで23名が参加し、延べ114日パトロール実施)
	東京多摩	6月3日 身近な水環境の全国一斉調査に参加。多摩川・秋川合流点 4名参加。 三ッ峠山アツモリソウ保護活動：6月17～18日 三ッ峠山荘主人(東京多摩支部会員)の指導によりテンニンソウ除草作業を本部自然保護委員会と合同で実施。参加者/本部自然保護委員会5名、静岡支部2名、支部員8名、計15名。
	山梨	山梨県山岳レインジャー(4月～10月4回実施、山梨県委託の南アルプス他希少高山動植物調査)支部会員延べ26名参加
	岐阜	山岳パトロール 岐阜森林管理署内で森林保全巡視、環境美化のため会員のうち登録者が国有林を中心8名。金華山(岐阜市)の登山道修復に派遣3名
	東海	①清掃登山(猿投山) 6月17日ー HAT Jとの協働、7名参加 ②自然保護全国大会-7月8日～9日 金沢で開催、3名参加 ③猿投における動物調査の継続。
	京都滋賀	支部自然保護部会を通じて、通年的に希少植生の調査をおこなっている。
	関西	環境省近畿地方事務所関連の「大台ヶ原の利用に関する協議会」に関係者として参加し、環境保護と利用について活動した。
	広島	霧ヶ谷湿原自然再生地の保全活動 国の自然再生推進法に基づき「過去に失われた生態系その他自然環境を取り戻し、生物多様性確保」を目的として平成18年から3年をかけて霧ヶ谷湿原の自然再生工事が行われた。 平成23年からは広島支部が中心となり霧ヶ谷湿原の保全活動を実施しており、今年度は湿原内の除伐・除草等の保全活動を年2回(4月・6月)実施。参加者は広島支部・関係団体・一般を含め1回目43名・2回目35名の延べ78名で実施した。
	北九州	九州森林管理局より受託している森林保全巡視活動を15名の巡視員で実施している。 ・平尾台(小倉南区)にある広谷湿原のラムサール条約登録に係る推進活動に参加。 スズタケ枯死とシカの食害調査：祖母・傾山系の本谷山西の稜線の定点観測地点において年二回(6月・10月)計画。平成25年度から5年目の観測となる(参加支部会員6月2日8名、10月は雨天中止)
	自然保護 委員会	機関紙「木の目草の芽」の発行：隔月発行。外部の配布先は山岳団体、自然保団体や関係者、自然保護に関心を持つ人、新聞社などマスコミ関係、関係省庁等。内容は自然保護関係者による記事、委員の取材記事、委員会活動報告等。
科学委員 会	「山のマナーノート」冊子の発行：近年の登山マナーの低下を防ぎ、自然保護の理解を進める自然保護委員会との協同事業。30,000部を発行。全会員に配布し、支部の登山講習会等で活用された他、全国の主要ビジターセンター、山小屋、スポーツ店等でも配布され、大好評であった。	
他1－1 登山活動 指導	北海道	海外登山を目指し計画停滞の千島列島からキルギスの天山山脈北部に計画変更。「キルギスの自然と山」の勉強会を実施。○日時等：平成31年3月9日・会場：札幌市内・講師：信州大学山岳研究所 泉山茂之教授(キルギスとの共同研究者である哺乳類学者)○演題 「キルギスの自然と環境保全」について ○参加者15～20名(3月実施のため予定人数記載)
	宮崎	支部定例登山研究会(毎月第1木曜日・12回実施、延べ270名出席)
他1－2 文化活動 支援	山形	「学校から見える山」イラストプレゼント：同企画の3年目は最上地区の金山町とし、北方の山々の鳥瞰図と神室山地の展望図を、金山小学校、明安小学校、有屋小学校の3校と町長に作品贈呈を行った。8月6日の贈呈式の前日には最上地区で豪雨の被害があり、贈呈式の開催が危ぶまれたが、各小学校の5・6年生の児童と教員また町長が出席され無事に開会式が開催された。粕谷会員と野堀会員によるイラストの解説があった後、児童からの興味深い質問への回答がなされた。 写真展：6月20～26日に酒田市文化センターで「アルパインフォトクラブ」写真展を実施した。一般市民を含め、延入場者数は推定1200人。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
他1-2文化活動支援	越後	第61回高頭祭(兼第65回弥彦山松明登山祭)：7月25日、「山の日」制定記念事業として、弥彦山大平園地・高頭仁兵衛寿像前で会員一般参加者70名が参加して実施した。記念式典後、野澤副会長から「日本山岳会創立120周年に向けた取り組み」と題して記念講演を行った。その後、清掃登山をしながら弥彦山頂に移動し、山頂御神廟前で新潟県登山祭に参加、日本山岳・スポーツクライミング協会会長の八木原國明氏から「山の日による登山振興とオリンピックに向けたクライミング選手の育成」の記念講演を行い、終了後山頂から市中まで松明行進を行った。約200名参加。
	富山	「第33回播隆祭」および「高頭山記念登山」平成30年6月3日実施、参加者40名(支部会員、生家の会の皆さん、一般) 「播隆祭」：播隆上人顕頌碑前にて式典を実施。播隆上人の遺品を展示。 「記念登山」：式典終了後高頭山登山を実施。参加者14名
	石川	「久弥祭支援事業」NPO深田久弥と山の文化を愛する会主宰の久弥祭に協力し、支部員16名派遣した。平成31年度も継続して支援協力していく。
	福井	「泰澄祭」泰澄塾との共催：5月27日(日)県内外から一般公募約130名・支部会員10名の参加で行われた。泰澄塾30周年記念と白山開山1300年を前に泰澄塾が登山道沿いに設置した60体の お地藏様を巡る縦走(越知山～六所山)コースを走る。参加者に泰澄汁を振る舞い昼食、三味線コンサートを楽しむ。帰路は、ショートコース約4キロ(別山～花立峠～雀ヶ峠～悠久ロマンの杜)、ロング&ハードコース約8キロ(別山～花立峠～雀ヶ峠～六所山～雀ヶ峠～悠久ロマン杜)を歩く。
	山梨	第59回木暮祭：当会第3代会長であり、奥秩父の紹介者、木暮理太郎の遺徳を偲ぶ碑前祭。10月21日午後2時から、金峰山麓の北杜市須玉町金山平で開催。当支部、山梨県山岳連盟、増富ラジウム峡観光協会が構成する木暮碑委員会が主催、毎年北杜市の協力を得ている。支部会員15名、一般参加者30名。なお、午前中は、五里山記念登山を実施した。参加者は支部会員8名、一般2名。 第1回田部重治祭：奥秩父・西沢・東沢溪谷開拓者である田部重治の遺徳を偲ぶ碑前祭と西沢溪記念登山。7月21日西沢溪谷入口田部碑前にて開催。主催は山梨市笛吹支所。当支部、山梨県山岳連盟が協賛し協力支援。一般参加者50名、支部会員参加10名。今後は金峰山麓で実施している秋の木暮祭と並行して開催予定。昨年度は田部ら西沢東沢入溪100周年記念として、本年が第1回となった。 第37回深田祭(4月15日深田久弥を偲ぶ碑前祭、一般参加者80名、支部会員10名)
	岐阜	山岳写真展12/1～12/28 喫茶パウゼ(岐阜市) 87名。H31/1/4～1/12ハートフルスクエア(JR岐阜駅1階)。
	静岡	11月6日(火)～11日(日)県山岳4団体(県岳連、市岳連、労山、日本山岳会)での「南アルプス写真展」開催 来場者881名
	関西	「藤木祭の実施」：本年度は台風24号により中止。来年度は9月29日に実施予定。 11月11日に山岳図書の著者による講演「著者と語る会」を開催した。参加者30名
	四国	「第6回小島烏水祭」：4月7日(土)高松市峰山公園内の小島烏水顕彰碑前にて第6回小島烏水祭を開催した。
	北九州	「第2回 榎有恒碑前祭」：10月21日風師山榎有恒記念碑前にて実施した。森武昭前会長(神奈川支部)、芳賀孝郎ご夫妻(北海道支部)等支部会員を含め33人が出席。終了後、「門司倶楽部」にて午餐会と芳賀さんの記念講演を拝聴した。
	熊本	第7回山の写真展：12月2日(日)～17日(月)山の店シェルパで実施。出展14名記帳者103名。
	東九州	第8回九重山の安全を祈る集いの開催：昭和5年8月の九重山初の遭難者慰霊碑前で山での遭難者の慰霊と安全登山を祈る集いを実施。平成22年から法華院温泉と共催で実施し本年で9回目。(8月5日実施参加者・22名)
	宮崎	第34回宮崎ウエスタン祭の実施：11月3日 高千穂町三秀台において開催した。参加者約160名(一般80名、子供20名、日本山岳会会員59名(北九州支部12名、熊本支部10名、東九州支部12名、宮崎支部20名)・地元村おこし協議会主催の安全祈願祭及び交流会には、地元関係者と子供達による神楽・民謡・キャンプファイヤー等で盛り上がった。 第24回宮崎中央公民館祭り参加、支部活動写真パネル9枚展示(一般参加600名)
図書委員会	図書交換会の開催(於・年次晩餐会)2017年12月3日：年次晩餐会会場での開催は7年目。本の購入申し込み者が多く、400冊はほぼ完売。全国の会員が集まる機会に合わせての開催のため、東京以外に在住する会員の購入が多かった。特に講演会に入場できなかったため、ついでに本を見ていく会員が多かった。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
他1-3 年次晩餐会、支部懇談会、支部間交流、支部記念事業	総務委員会	<p>年次晩餐会を平成30年12月1日（土）京王プラザホテルにて開催。晩餐会参加者496名。</p> <p>「グッズの製作と販売」：会員向けに、日本山岳会のマーク入りグッズの販売（晩餐会のみ販売。収益68,630円）。</p> <p>「入会検討者のための説明会の開催」日本山岳会に関心を持っている人を対象にHPで呼びかけて説明会を開催した。4月・6月・8月・10月・12月・2月の第4金曜日19時から開催。合計34名が参加。</p> <p>「新入会員オリエンテーションの開催」最近1年間に入会した会員に、日本山岳会について知ってもらうための説明を行い、併せて、本部役員、委員会、同好会関係者等との意見交換・懇親を図った。9月1日（土）ルーム。新入会員24名、役員28名が参加。</p> <p>「同好会連絡会議の開催」：同好会の活発な活動を促すとともに、業務上必要な事項の連絡、意見交換等を行った。</p> <p>7月2日（月）出席：26同好会、欠席：1同好会</p>
	宮城 岩手 秋田	6月17日、2008年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」域である栗駒山（須川岳・大日岳）を圏域に持つ秋田・岩手・宮城の3支部合同登山を行い犠牲者のご冥福を祈った。参加者は（秋田9名、岩手8名、宮城14名内一般1名）31名。
	山形	1月18～20日に蔵王スキー場で「蔵王樹氷原を滑る会」を実施した。東北各支部、アルパインスキークラブメンバーが参加した。12月1日の晩餐会前の特別展示で「学校から見える山」で作成されたイラストの展示と解説文の配布を行った。3月8～9日に山雪荘～滝の小屋～河原宿～外輪山で「鳥海山スキー登山」を実施予定。
	茨城 栃木 群馬 千葉	「北関東ブロック「四支部合同懇談会」第12回：千葉支部・茨城支部・群馬支部・栃木支部の年間定例行事。今年度は千葉支部主管で内浦山県民の森で2月16日～17日に開催した。四支部会員合わせて47名が参加、支部活動報告、講演、登山・観光など行われた。栃木支部からは7名が参加。
	栃木	「ユース栃木「虹芝寮スプリングミーティング」」第3回：ユース栃木主催で4月14日～15日谷川岳芝倉沢出合にある成蹊学園虹芝寮を拠点に開催、親睦を深めながらスキーを含む春の残雪期の登山能力の向上を図った。参加（栃木支部ほか群馬支部、東海支部、首都圏会員、成蹊大学山岳部OB）9名。
	信濃 越後 山梨 静岡	中部4支部交流会、（信濃、越後、山梨、静岡）11月3日（土）～2日（日）46名参加（静岡支部21名）11月3～4日 静岡支部主催し三保の松原で開催された中部4支部交流会に11名参加した。焼津、満観峰ハイキング。
	宮崎	九州5支部懇談会：福岡支部、東九州支部、宮崎支部、熊本支部、北九州支部参加。宮崎ウェストン祭の後、宿舎とした公民館で九州5支部との懇談会を開催した。
	会報編集	会報「山」（1色刷り、5,200部印刷）のNo.863～No.874を発行した。ページ数は経費削減の折から増ページせず、20ページにとどめている。会員サービスの一環として「優待サービス一覧」（1色刷り8ページ）を1月号に同封している。
他1-4 山研管理	山研委員会	上高地町会行事（開山祭、一斉清掃、閉山式等）への参加。上高地消防隊訓練への参加。